

令和8年度_地域みらい留学 事業説明会



地域・教育魅力化
プラットフォーム
Platform for Sustainable Education and Community

令和7年7月1日（火）

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

本説明会

令和8年度地域みらい留学 事業説明会（第1回）

7月1日（火）

- 令和8年度地域みらい留学を中心とした事業の概要のご説明

令和8年度地域みらい留学 事業説明会（第2回）

9月18日（木）

- 令和7年度合同学校説明会の開催日時・場所の詳細や、契約スケジュール等について

令和8年度地域みらい留学 契約書説明会

1月29日（木）

- 令和8年度地域みらい留学事業の契約・ご請求手続きの詳細に関するご説明

- 地域みらい留学の事業における現状や課題、次年度に向けた方針を共有すること。
- 地域みらい留学事業および各種支援事業や施策についての情報提供。

後日アーカイブ動画とともにアンケートをお送りします。各参画校様のうち1名様、アンケートの回答をお願いします。



01 令和7年度の進捗および次年度以降の課題	P.4
02 令和8年度 地域みらい留学_事業の方針	P.15
03 地域みらい留学の提供プラン・参画条件	P.20
04 おためし地域留学・住まい伴走事業・PR支援	P.28
05 第2世代交付金事業概要	P.52
06 地域みらい留学奨学金	P.67

01 令和7年度の進捗および次年度以降の課題



- 高校進学フェス(東京/大阪)は、6月東京、7月大阪、8月東京の計3回実施。
- 高校進学フェスinオンラインは4回、テーマ別学校説明会は5月～10月で実施。
- 事務局による中学生・保護者向け説明会や個別相談等を実施。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
①高校進学フェス (東京/大阪)			6/21-22 @東京	7/12-13 @大阪	8/23-24 @東京		
②学校PR							
③事務局による留学 促進施策							
④	高校進学フェス inオンライン		5/31-6/1 ※各校1日程	7/5-6 ※各校1日程	8/2-3 ※各校1日程	9/27 ※希望校のみ	
⑤WEBサイト/ ガイドブックでの学校紹介				5-10月にて実施（合計55日程度）			
				通年掲載			

- ・高校進学フェスの予約者数は対前年約127%で推移（参画校数は117%）
- ・6月対面は参加数対前年121%だが、1校あたり接点数は前年よりやや減少見込み（※各校より実績回収中）
 - └対面フェスでの回遊施策の強化、LINEを活用した検討促進施策の実施などを検討
- ・7、8月対面の予約数は前年153%、8月対前年136%で推移。

	2024年	2025年	対2024年比率
参画校数	145校	169校	117%
説明会予約組数 (対面・オンライン説明会に予約したユニーク数)	1,686組 ※最終2,823組	2,134組	127% ※6/30時点
(参考) 6月対面フェス予約/参加組数 (2日間の重複を除いた数値)	のべ予約767組 のべ参加535組	のべ予約934組 のべ参加645組	予約122% 参加121%
(参考) 学校個別説明会予約総数	845組	1,025組	121% ※6/30時点

参考：イベント別数値

	2024年	2025年	対2024年比率
7月対面フェス予約数（6月29日時点）	228	348	対前年153%
8月対面フェス予約数（6月29日時点）	193	263	対前年136%

- 首都圏の中学校受験者は2023年に過去最高を記録。2024年度においては、首都圏の小学生の5.5人に一人が私立・国立中学を受験、18.5人に一人が公立中高一貫校を受験している。



出典：
<https://www.nhk.or.jp/shutoken/articles/101/017/97>



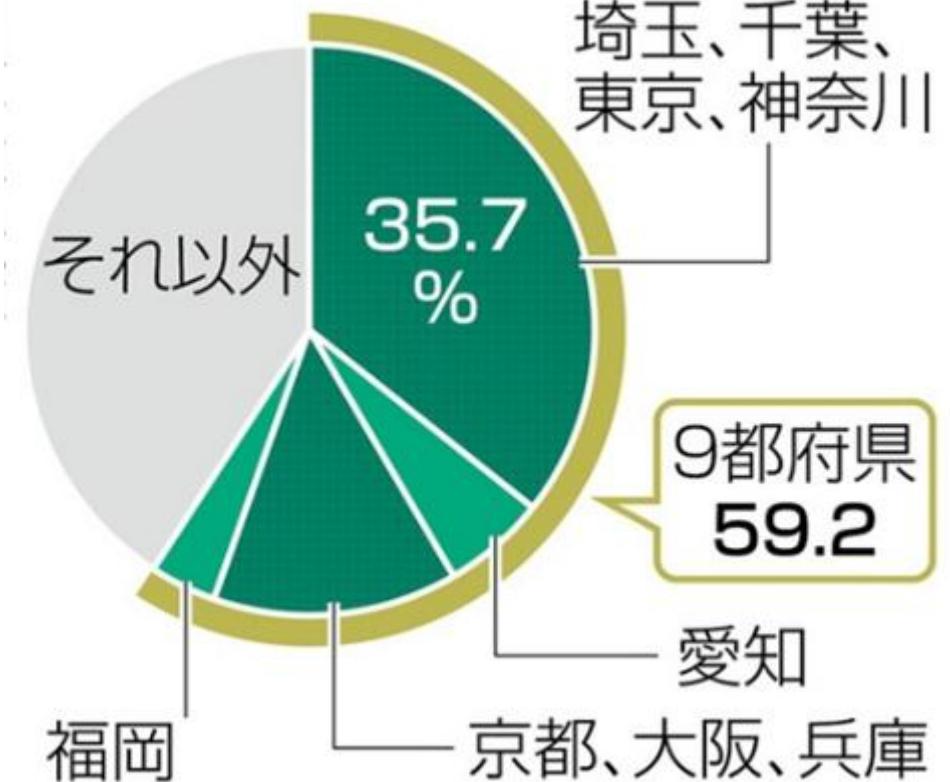
出典：<https://www.syutoken-mosi.co.jp/blog/entry/entry004298.php>

- 私立無償化の流れにより、地方の公立高校を取り巻く環境は順風とは言えない。



出典：<https://news.ntv.co.jp/category/politics/f1e10a35fdc14c7b843530617fee7dd9>

「高校無償化」の追加経費の支給割合

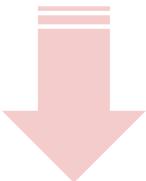


出典：

<https://www.nishinippon.co.jp/item/o/1339079/>

- 各校の接点数において、合同学校説明会での接点数が肝であり、地域みらい留学も合同学校説明会の接点数を最大化することに重点を置いた施策を実施してきた。

これまで



合同学校説明会



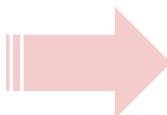
- 検討者確保のためのマーケティング施策は引き続き強化しつつ、事務局・参画校側の両者から中学生へのサポートやアプローチの強化が必須。

これから



アプローチ

合同学校説明会



留学決定



地域みらい留学
事務局

- 意志ある若者をより多く世に生み出していくため、事務局として以下を課題として認識している。

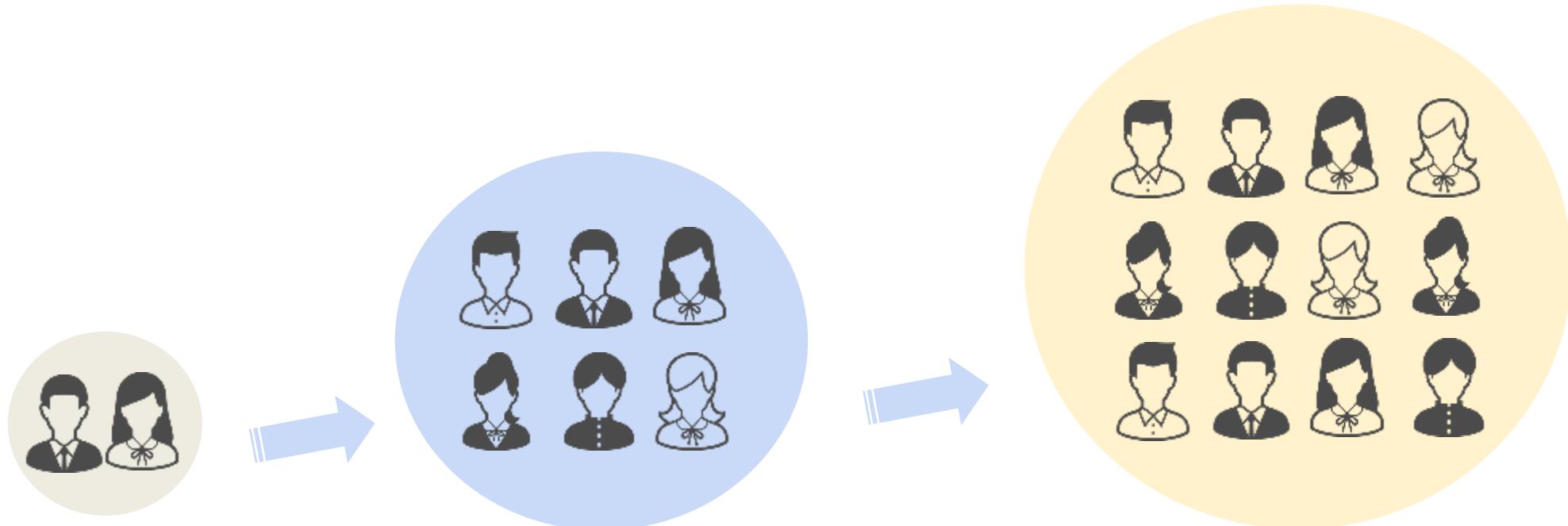
①地域みらい留学検討母体の更なる拡充・拡大

②中学生が留学決定に至るまでの留学検討プロセスのシンプル化

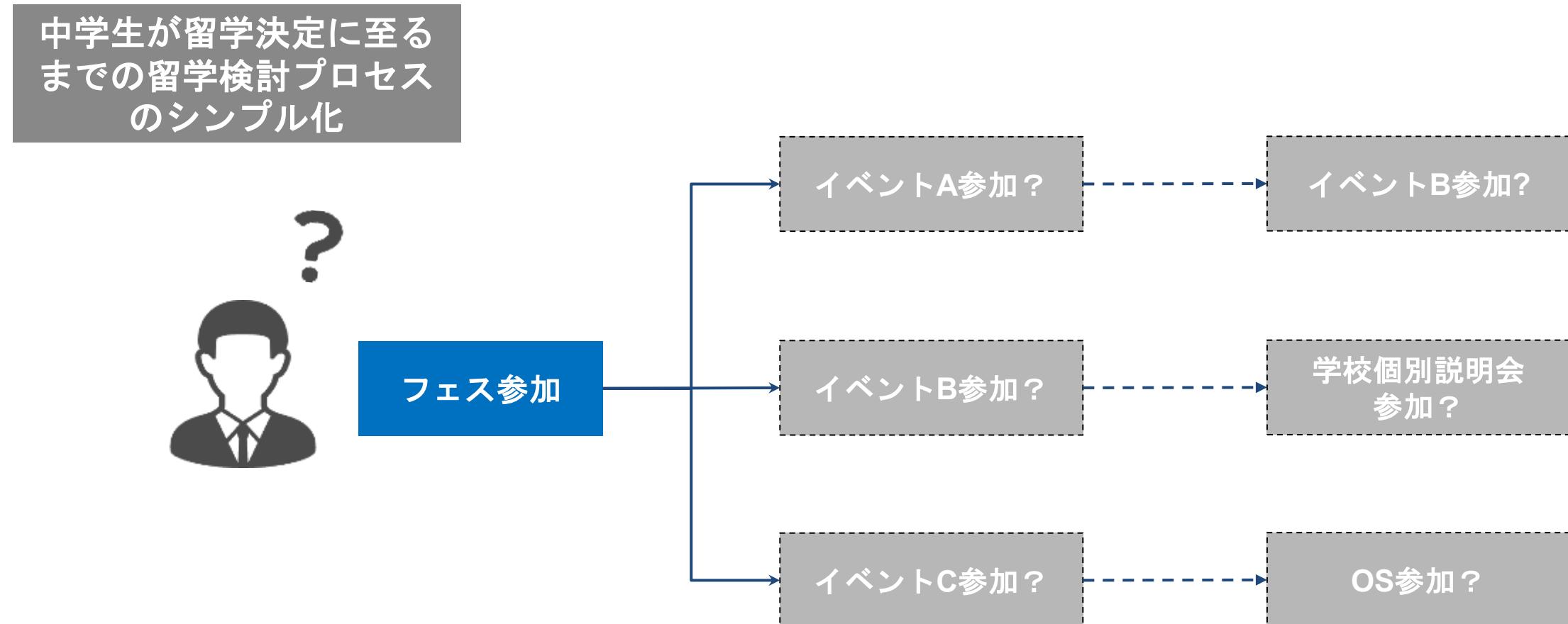
③各校の魅力が伝わる強化施策

- 地域みらい留学検討母体拡大に向けた従来の広報のあり方を抜本的な見直し・ブランド向上を図る必要がある。

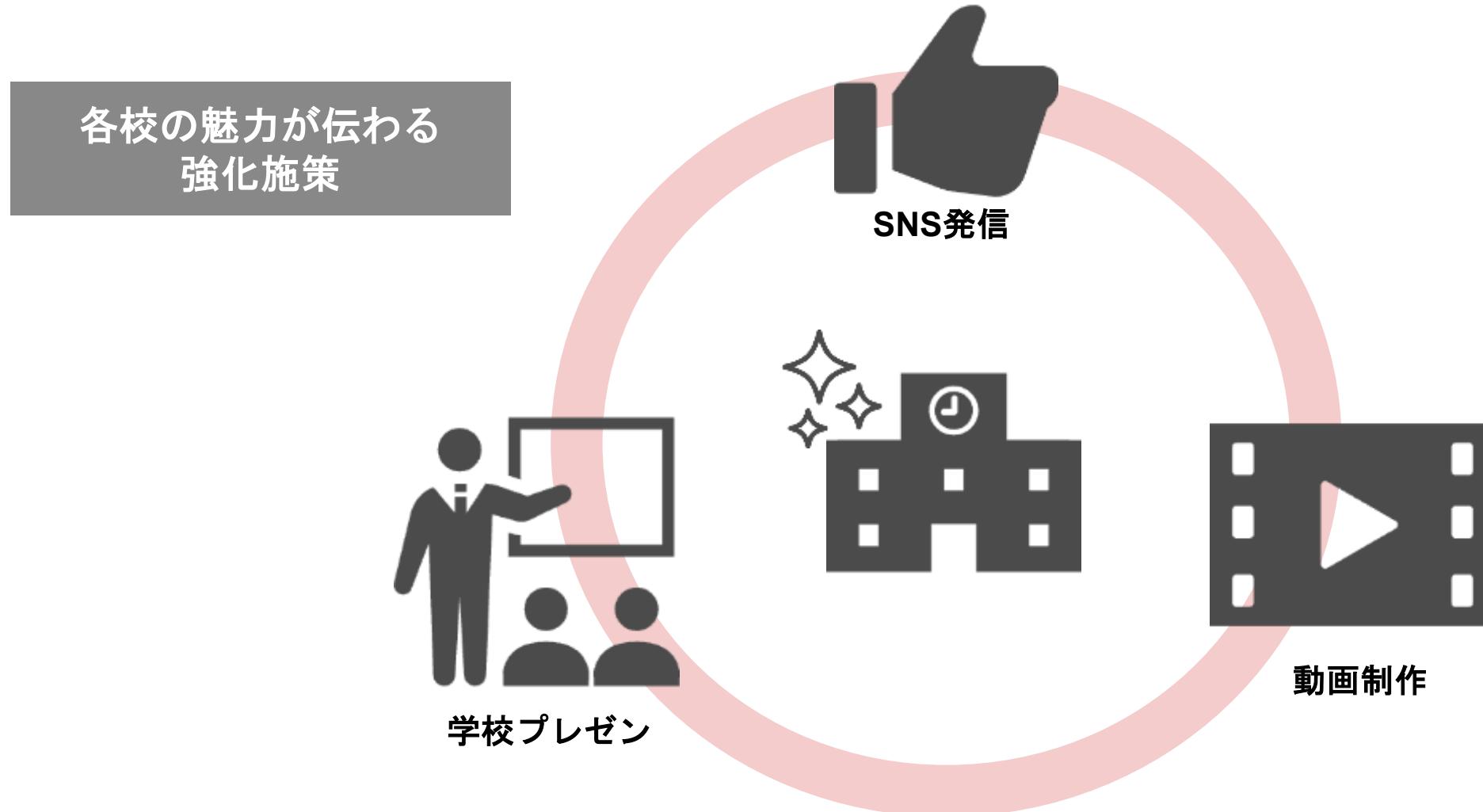
地域みらい留学検討母体
の更なる拡充・拡大



- 事務局主催説明会・高校進学フェス・テーマ別合同学校説明会等、イベントの選択肢が多く、検討プロセスが複雑化しており、各所で適切な後押し・サポートが必要な状況。

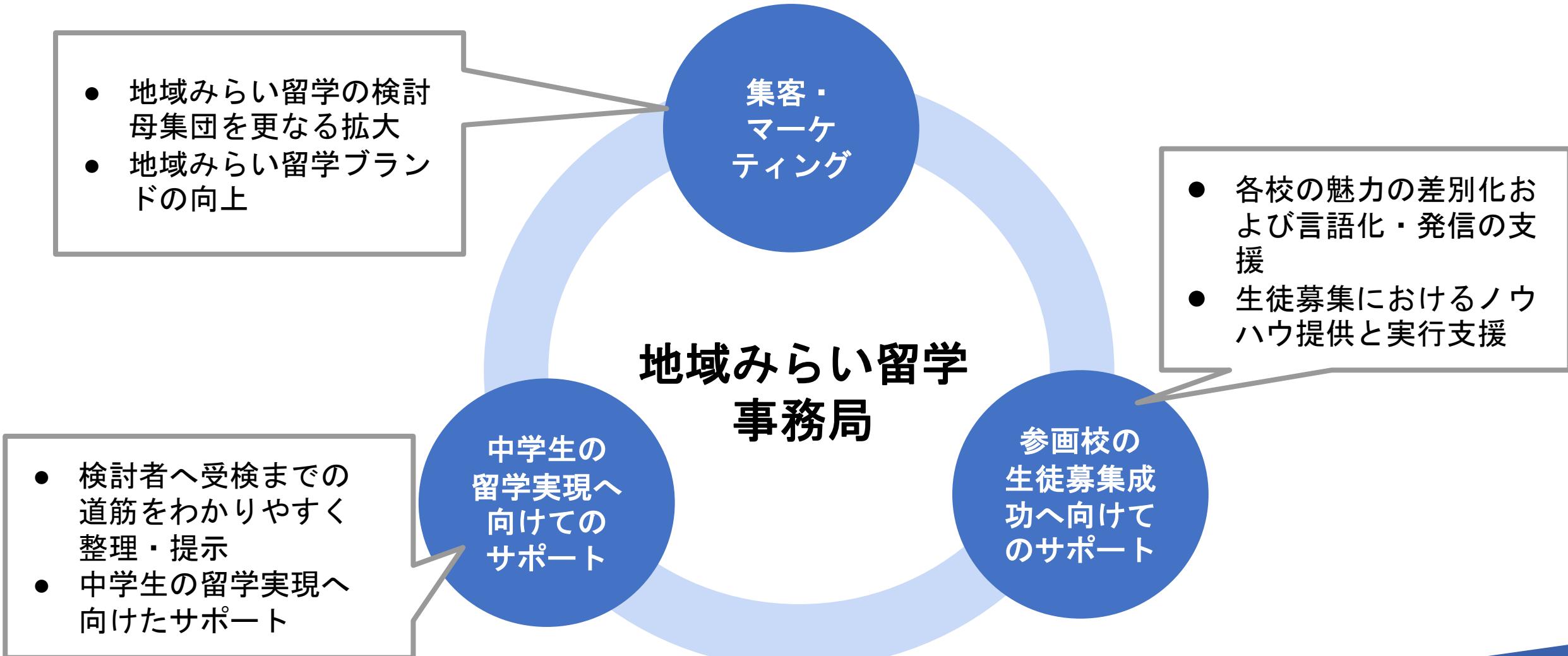


- 地域みらい留学に参画いただいている地域・学校がもつ魅力や差別化ポイントを引き出し、その魅力を中学生にわかりやすく伝える導線が必要。



02 令和8年度 地域みらい留学_事業の方針

- 前項の強化ポイントを受け、地域みらい留学事務局として、以下3本柱の役割を継続・強化していく。



- 前項の方針を受け、来期事業として以下の通り検討中。

集客・マーケティング

- チラシ・Web広告での広報改善
- 中学校教員・塾講師の認知度の向上
- 地域みらい留学ブランド向上施策

中学生の留学実現へ向けてのサポート

- 留学検討プロセスの抜本見直し・改善
- イベント設定の見直し・改善
- 記事・コンテンツ等のアーカイブ整理
- 個別相談窓口運用

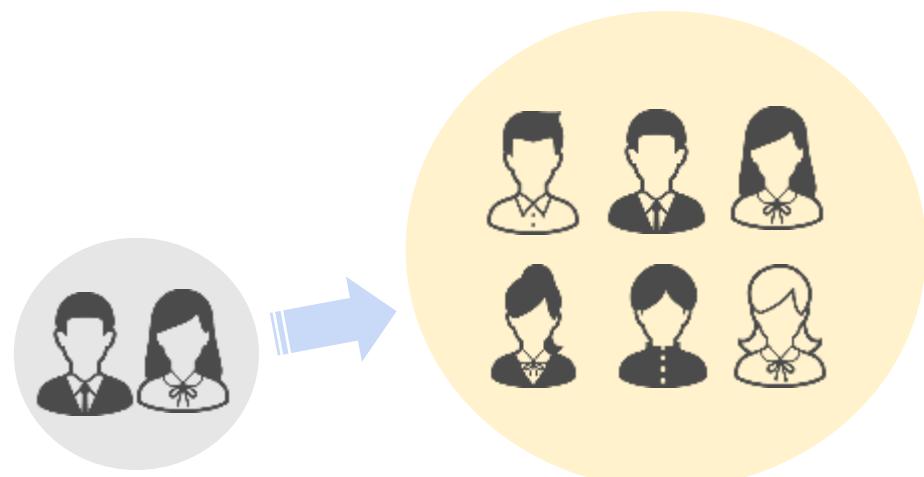
参画校の生徒獲得へ向けてのサポート

- 魅力発信方法の改善支援・ノウハウ提供
- 募集活動の成功事例や知見の共有・実行支援

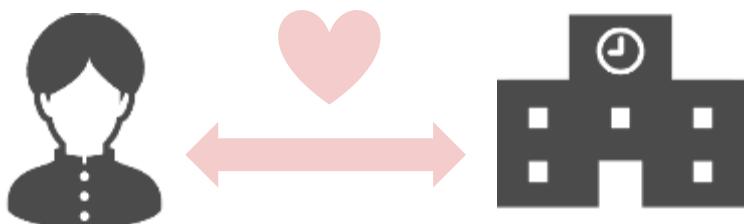
強化施策により生み出される効果

- 参画校の魅力がより的確に伝わることで、その学校に合った志望度の高い生徒との質の高いマッチングの実現が可能。

合同学校説明会以外の
経路での接点数増加



その学校に合った生徒との
より良いマッチング



- 次年度においても高校進学フェス（会場開催）は地域みらい留学での最重要施策として3回（東京2回・大阪1回）実施予定。詳細日程・会場については9月18日の次回説明会にてご報告予定。

6月

7月

8月

or

9月



03 地域みらい留学の提供プラン・参画条件

- 中学生や保護者とのリアル接点による興味喚起、信頼構築が可能となる高校進学フェス(東京/大阪)に2回参加できる標準プランを推奨。プラン価格は令和7年度から変更なし。
- フェス以外で生徒と学校のマッチングを行う事務局施策を共通して実施。

価格	プラン別		共通		
	①高校進学フェス (東京/大阪)	②学校PR (WEBサイト上で の学校個別掲載等)	③事務局による 留学促進施策 (個別相談窓口/ 学校の絞り方 相談会等)	④高校進学フェス Inオンライン	⑤WEBサイト /ガイドブック での学校紹介
ライト プラン	120万円/税抜 132万円/税込	参加1回	—	○	○
標準 プラン	145万円/税抜 159.5万円/税込	参加2回	学校検索ページ 最上部での掲載 (1週間)	○	○
追加 プラン	165万円/税抜 181.5万円/税込	参加3回	学校検索ページ 最上部での掲載 (1週間)	○	○

※内容は一部変更の可能性がございます

● 対面説明会参加、およびその参加回数により効果的な募集活動が実現。

留学検討度の
向上に有効

- ・現地を訪問するオープンスクールを除くと「とても参考になった」という割合が最も高いのが対面説明会であり、留学検討に対して特に有効な場となる
- ・大人や在校生と直接対話することで信頼関係の構築や検討度向上につながり、オープンスクールなど現地訪問のきっかけとして重要となる

【参考】留学検討者100名へのアンケート結果（2023年11月実施）

Q.留学を検討する上でそれぞれどれくらい参考になったか？

	とても参考になった	まあ参考になった
オープンスクール	97%	3%
対面説明会	81%	14%
個別学校説明会	75%	24%
平日夜のテーマ別	53%	39%
オンラインの合同学校説明会	44%	50%

その他効果

- ・対面で自校をPRする経験での生徒の成長機会
- ・参画校同士の連携・交流を通した他校の募集ノウハウの学び

※7月大阪、8月東京の実績を踏まえた目安接点数は8月中に公開予定です。



● WEBサイト上の学校検索ページで一定期間、学校を上位表示する枠を設置する（令和7年度同様）

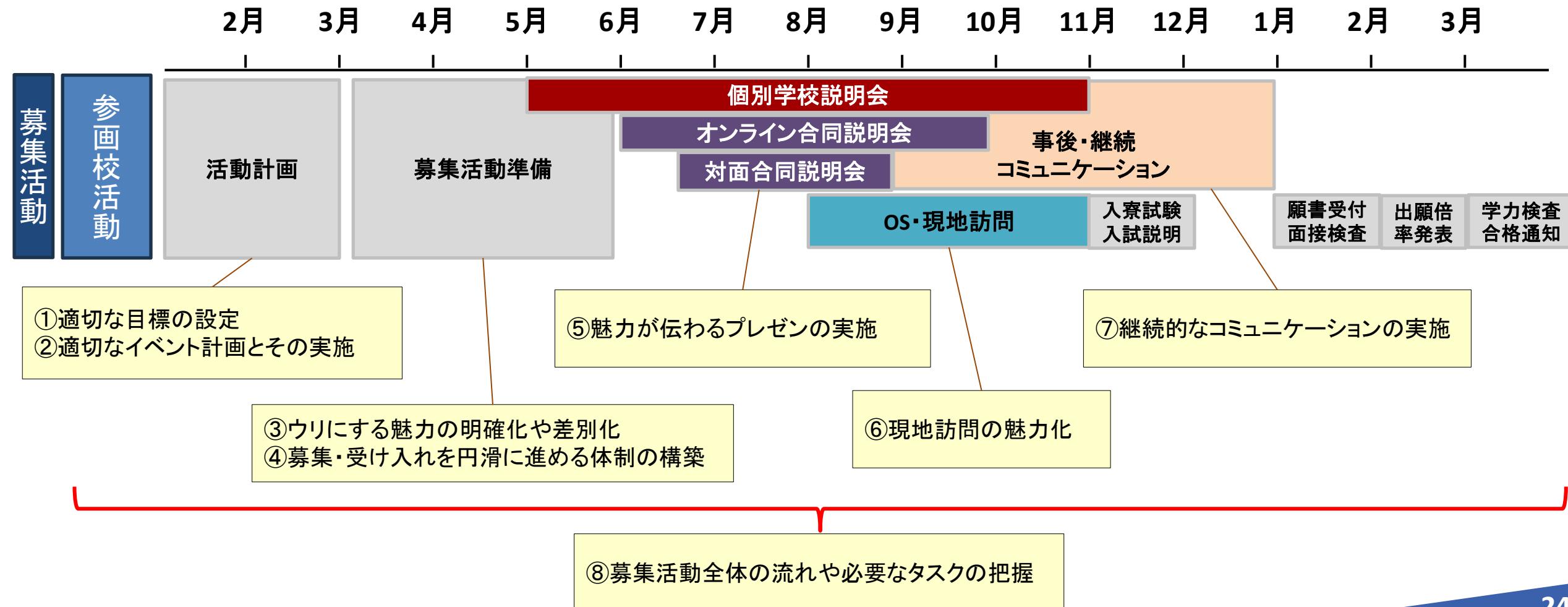
※令和7年度は1校あたり14日間／年でしたが、令和8年度は変更となる可能性があります。

学校検索ページの上部に学校を紹介

学校を調べる

The screenshot shows a search interface with a sidebar on the left containing regional filters (Hokkaido-Tōhoku, Kantō, Chūbu, Kinki, Chūgoku-Kansai, Shikoku-Kyūshū) and subject filters (Mathematics, Japanese Language, etc.). The main area displays three identical promotional boxes for 'Kagoshima Prefectural Kikuchi High School'. Each box features a thumbnail image of the school building, the school's name, and several small blue buttons with white text. A large orange 'PR' button is located at the bottom right of each box.

- 募集活動における課題に対して、これらを解決することで募集成果の最大化を目指す。
- 研修や成功ノウハウ提供、参画校コミュニティなどを検討中。詳細は9月18日の説明会で公開予定。



- 令和8年度の参画条件は、以下の通り（主たる変更点は赤字の箇所）。
- 生徒が安心して留学できる受け入れ体制には、高校・自治体等の連携が不可欠と考えている。

第1条 参画基準策定の目的

1. 参画校に入学する生徒が、人間的な成長を求め充実した高校生活を過ごすことができるようにするため
2. 地域みらい留学を検討する中学生および保護者等の関係者が、安心して参画校から進学先を選択するようとするため

第2条 参画基準

以下の条件に該当する学校及び自治体が地域みらい留学に参画できる。

1. 学校及び自治体区分

原則、政令指定都市、中核市、東京都区部以外の自治体に設置されている公立・国立の高等学校・高等専門学校である。

2. 活動方針

全国生徒募集を通した教育方針が明確になっている。

3. 受け入れ体制

- (1) 寮など入学者の居住環境が整備されており、継続した生徒の受け入れを予定していること。
- (2) **高校と自治体等が連携し、入学者のサポート体制およびその方針が明確になっている**
- (3) 相談窓口および緊急時に対応できる連絡体制が構築されていること。

※参画基準1「学校及び自治体区分」に関しては、該当の学校及び自治体の現状を鑑み例外を認める場合がある。

- 『参画校向けガイドライン』『保護者向けガイドライン』を設定することで、双方の確認漏れ、認識齟齬などによるミスマッチを防ぎ、生徒が安心して3年間を過ごせる状態を担保する。

参画校向け

参画校向け
ガイドライン

留学生の受け入れ
前に必要となる適
切な情報提供のあ
り方、受入体制の
整備についての指
針とする。

参画校サイト等に掲示予定

保護者向け

保護者の皆さまへ

2025
地域みらい留学
ガイドライン



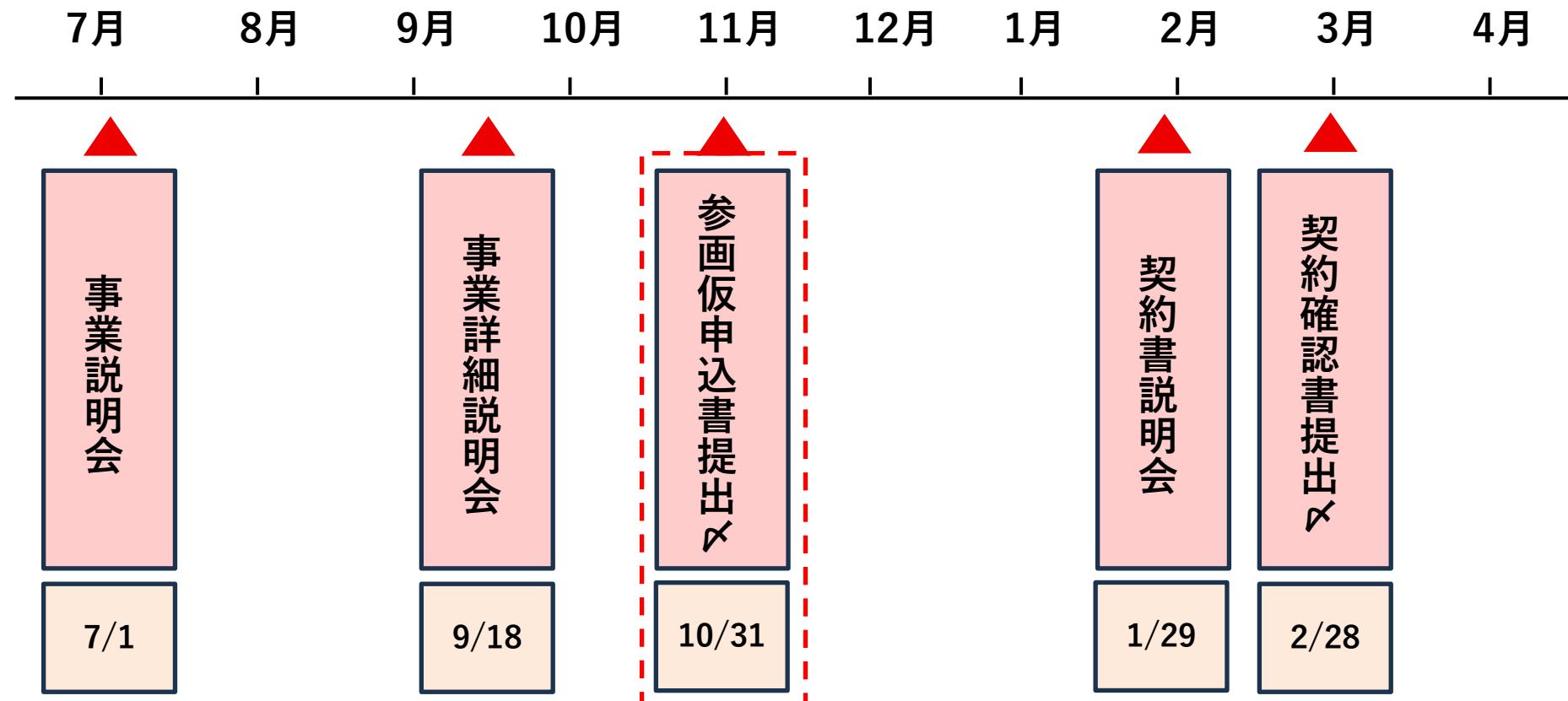
地域みらい留学

行きたい高校が決まってたら、ぜひこの冊子を読んでください

ガイドブックとあわせて配達

留学先の受け入れ
方針や体制、事前
確認の重要性、留学
先検討に必要な
チェック項目など
を提示。

- 令和8年度の参画に向けた、各種説明会と書類の提出についてのスケジュールは以下のとおり。



※参画仮申込書：対象年度の参画について、参画予定のプランや出展会場を仮申込する。
提出後に議会等の議決・承認が得られない場合、無効にできるものとする。

04 おためし地域留学・住まい整備伴走・PR支援

►おためし地域留学

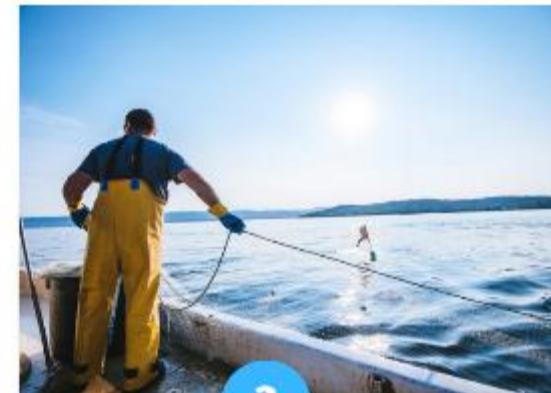
「おためし地域留学」とは、
地域みらい留学の生徒募集のプロモーション強化を狙いとした
地域の特徴や地元の人の魅力を体験できる地域・学校体験プログラム



1

その土地にしかない
自然や歴史・文化を
探求できる

美しい海や山、川などの
本物の自然に触れ、
その土地の歴史や文化を
探求することができます。



2

それぞれの地域で
「豊かに生きる大人」
の生き方を学べる

各地域の伝統文化や産業を
担うプロフェッショナルや
街づくりをリードする
大人との交流ができます。

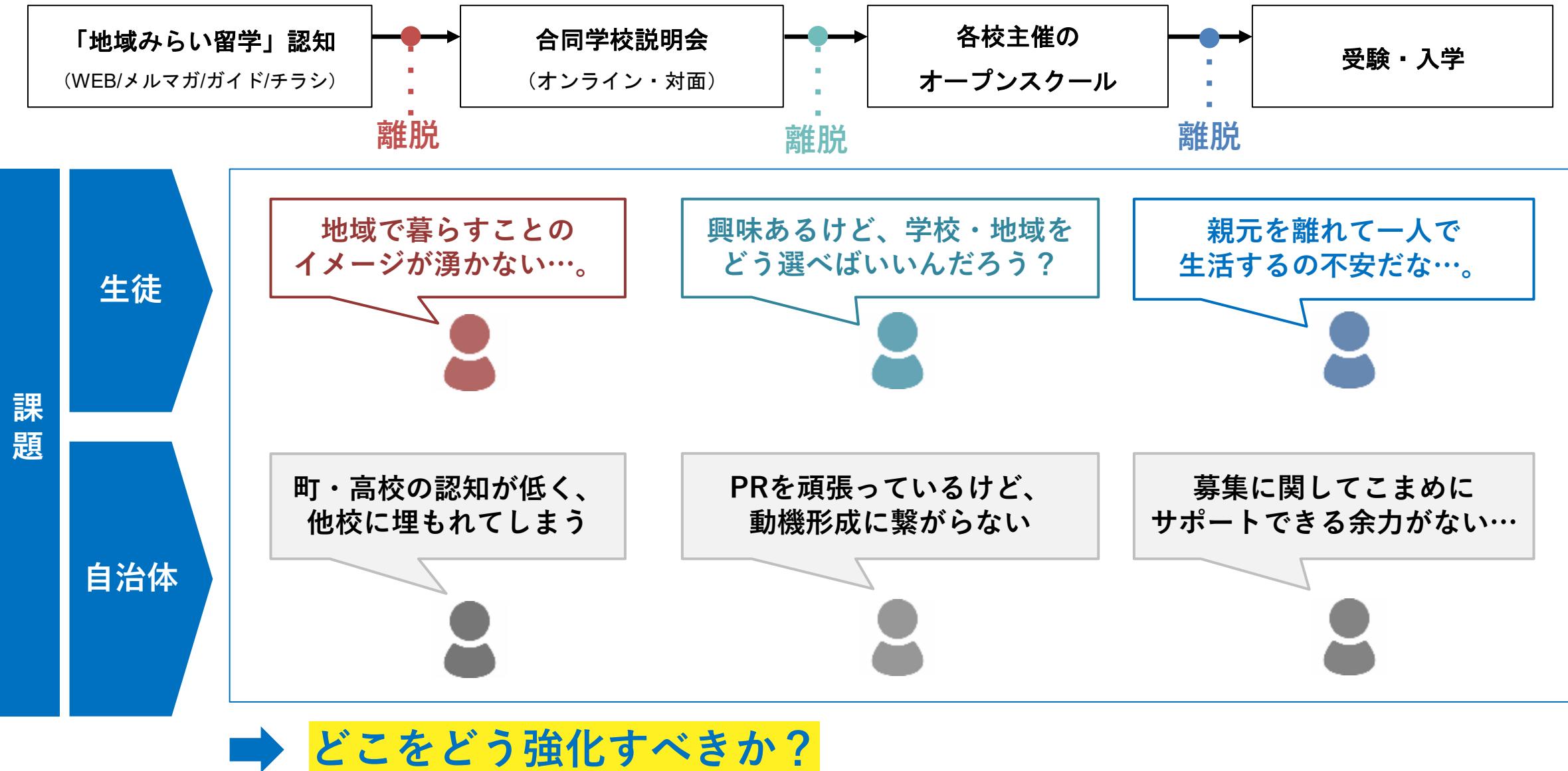


3

地元・全国から集まる
「同世代の仲間」と一緒に学べる

全国から来た生徒、地元
から進学した生徒など
地域を超えた仲間と一緒に
学びます。

3年留学までのハードル



◆都道府県外入学生を確保できている高校の特徴

1位	公営塾の充実
2位	魅力的なOS運営
3位	魅力的な大人との出会い
4位	SNSの活用
5位	住まいサービスの充実
6位	魅力的な高校生との出会い

※地域みらい留学事務局 独自調べ

参考

県外入学者と現地訪問者数（平均）

- 県外入学者 0名 (現地訪問者 **2.8名**)
- 県外入学者 1~2名 (現地訪問者 **7.6名**)
- 県外入学者 3~5名 (現地訪問者 **14.9名**)



「公営塾」や「住まいサービス」は、人 / 場所 / 予算等リソースが必要となり、解決のハードルが高い

一方、**魅力的な現地訪問（OS運営）や大人 / 高校生との出会い設計**は、どの地域でも工夫次第で実現可能

事例

A高校（東北エリア）

※2022年度参画

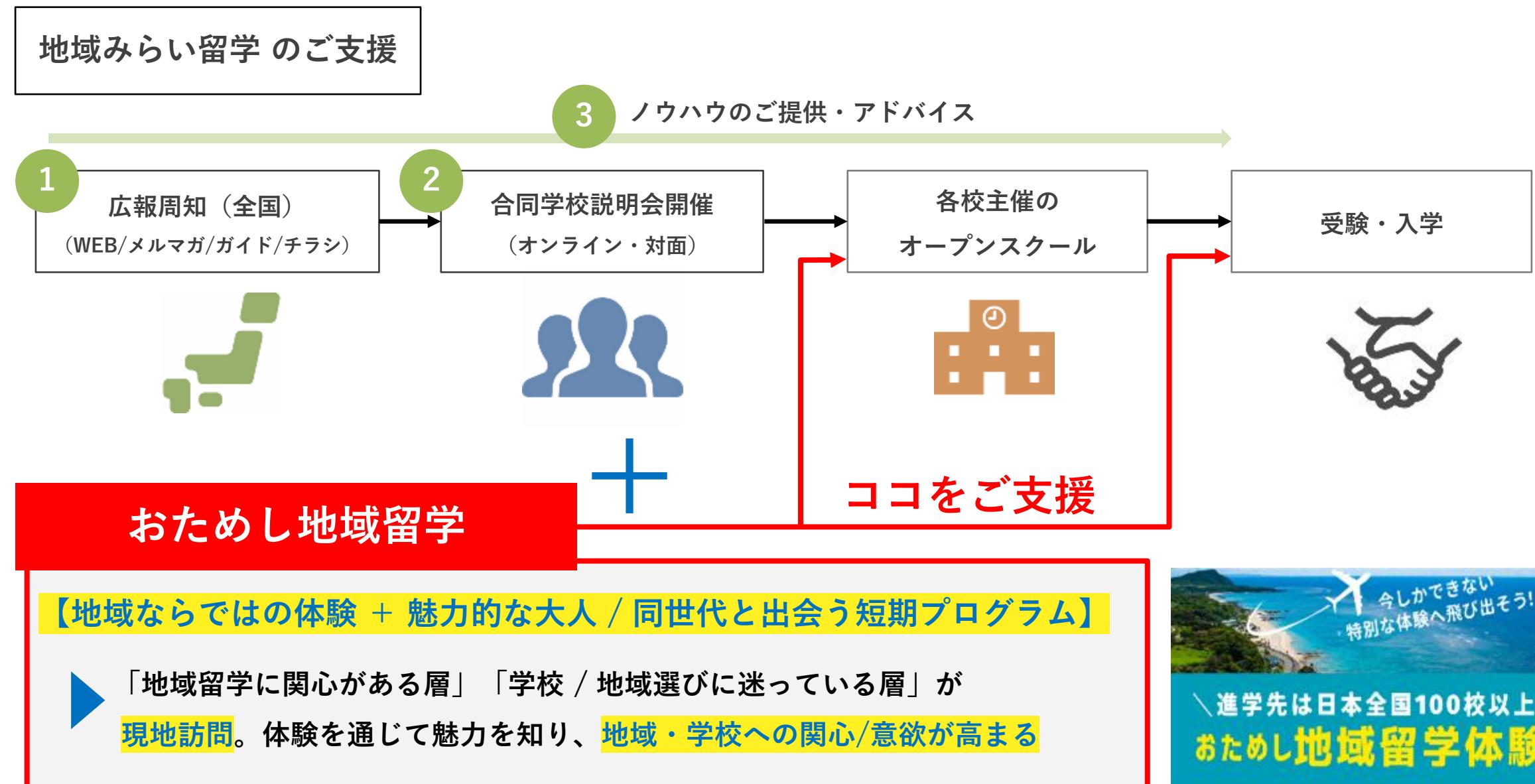


- 2023年4月入学： **4名** (現地訪問者**12名**)
- 2024年4月入学： **10名**
- 2025年4月予定： **11名**

ここをいかに
早く作れるか

▶ 現地訪問数の確保は、入学者数に直接連動

▶ 一度入学者を確保できると、
次年度以降、入学者が増加しやすい

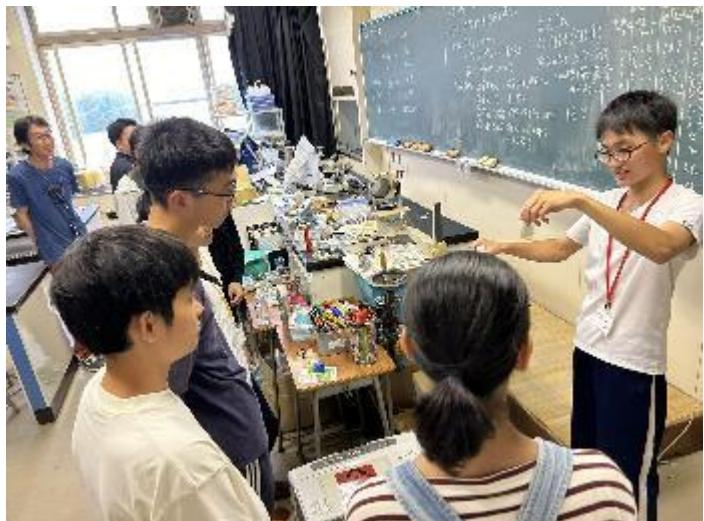


【参考】プログラム中の様子 ①

地域ならではの
魅力を体験！



魅力的な大人・
先輩との出会い



【参考】プログラム中の様子 ③

同世代との繋がり



ご要望に応じて3種類のプランから選択可能

	カスタマイズプラン	パッケージプラン	企画サポートプラン
料金 (税抜)	225万円	180万円	105万円
説明	【オーダーに合わせたオリジナルプログラム】 集客～プログラム企画～当日運用 までをフルサポート	【基本設計を基にしたプログラム】 集客～プログラム企画～当日運用 までをフルサポート	【企画サポート】 プログラム企画造成～集客 までを提供し、運営は現地
想定ニーズ	・生徒募集に加えて地域課題解決も狙いたい ・既存施策と組み合わせてプログラム設計したい	・短期プログラムの造成・受入経験が少ない ・生徒募集に繋がるプログラムを1から作りたい	・現地運営体制があり、短期プログラムの 受入経験もあるが内容を改善したい
集客	○	○	○
基本企画	○	○	○
カスタマイズ企画	○		
当日運営	○	○	
報告書作成	○	○	

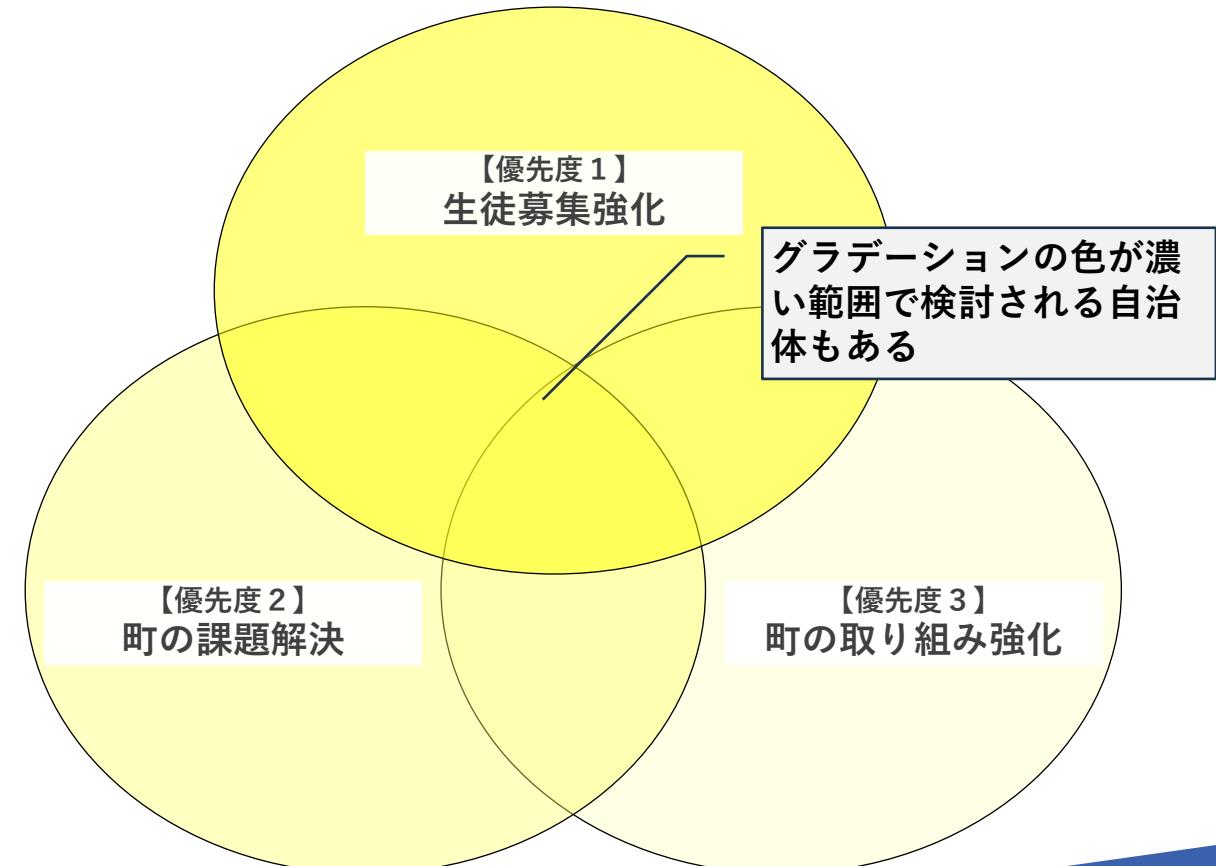
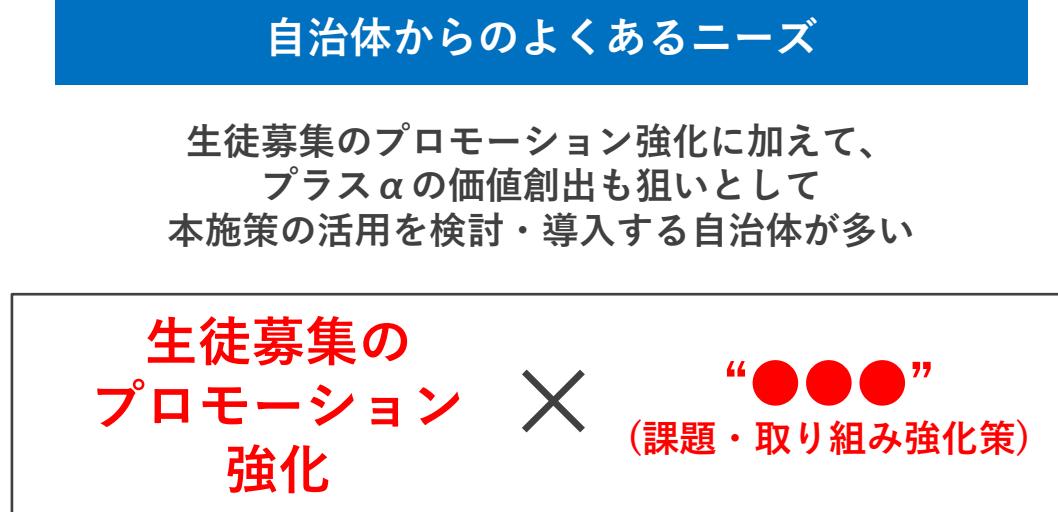
※実際に実施する場合には、貴自治体の実情等に合わせて再度積算します

- ・集客から企画、当日の運営までのすべての工程において、地域・教育魅力化プラットフォーム(CPF)にて担う設計
- ・自治体や高校の皆さまには、企画段階での一部サポートとプログラム当日の一部ご協力をお願いしたい
※参加生徒の雰囲気や変化を感じていただくことを考えると、プログラム途中や最後の振り返りを見学いただくことが望ましい

	集客	企画	参加者コミュニケーション	当日運営
CPF	全て担当 申込ページ作成・ 集客プロモーション等	企画取り纏め ・企画全体の資料化 ・全工程表の作成 等	全て担当 各種問い合わせ対応 事前・事後オンラインフォロー 等	全体進行 ・実施期間中、スタッフ2名帯同 ・生徒のお世話/リスク対応 等
自治体	特になし ※地元中学生へのPRは 協力いただく	コンテンツのご相談・協力 人や町のコンテンツについて お薦めを教えていただく	特になし	(ご事情によって調整) CPFで進行するため必須ではなく 可能な範囲での参加・見学 ※生徒の変化を実感いただくには 見に来ていただけるとよい
高校	特になし	高校訪問・高校生参加 のご相談 高校訪問や高校生の協力 についてご相談させていただく	特になし	高校訪問のみ参加 高校訪問の際に学校説明 (1-2時間程度)でご対応いただく ※生徒の変化を実感いただくには 見に来ていただけるとよい

生徒募集のプロモーション強化を第一義とし、 町の課題解決や活性化策としても活用を検討したいという自治体もあり

- 【優先度1】 生徒募集に繋がるプロモーション強化：学校存続に対する危機感や「地域みらい留学」の生徒募集状況を改善したい
- 【優先度2】 町の課題解決：町の観光PRや新たな関係人口創出、将来的な移住定住等の課題解決に繋げたい
- 【優先度3】 町の取り組み強化：成功事例の横展開(例：地域おこし協力隊向けのツアー)や更なる活動拡大の一手にしたい

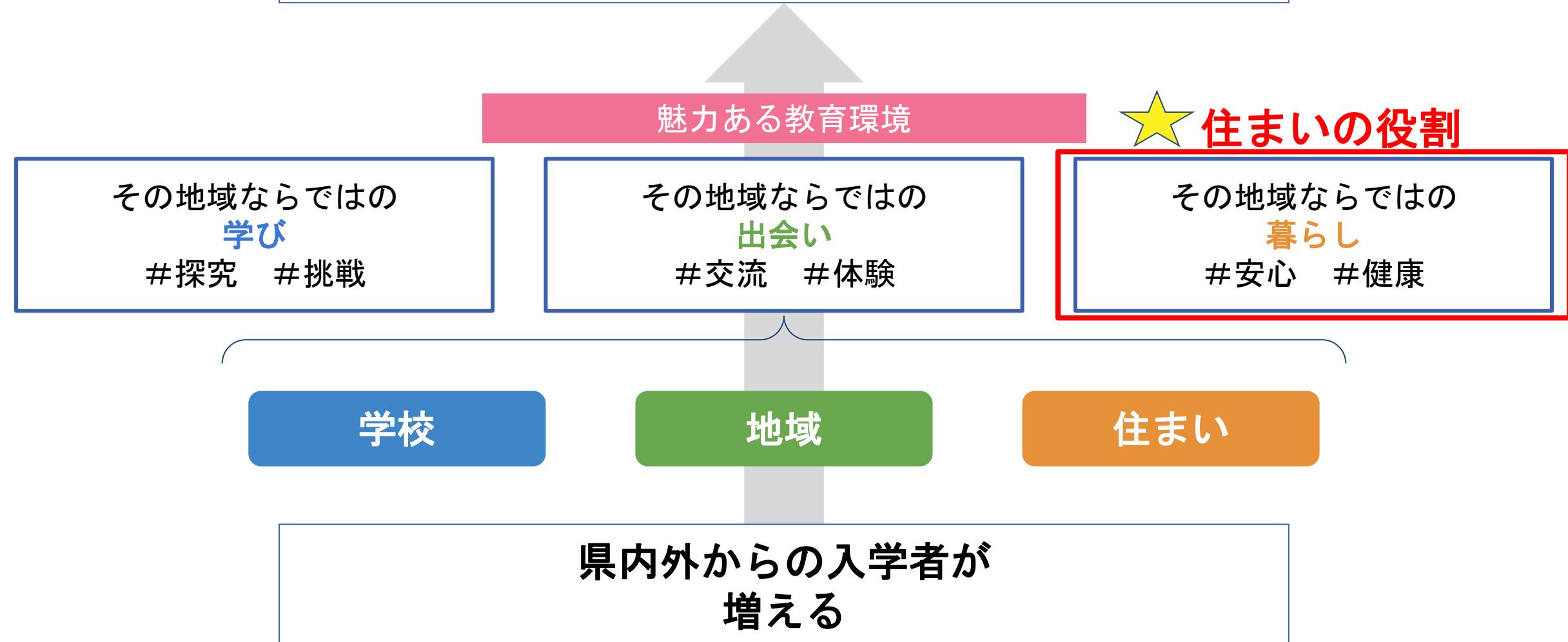


►住まい整備伴走

※7/1説明会より一部修正あり

地域と教育における“住まい”的役割

意志ある若者が育まれ、
持続可能な地域社会に近づく

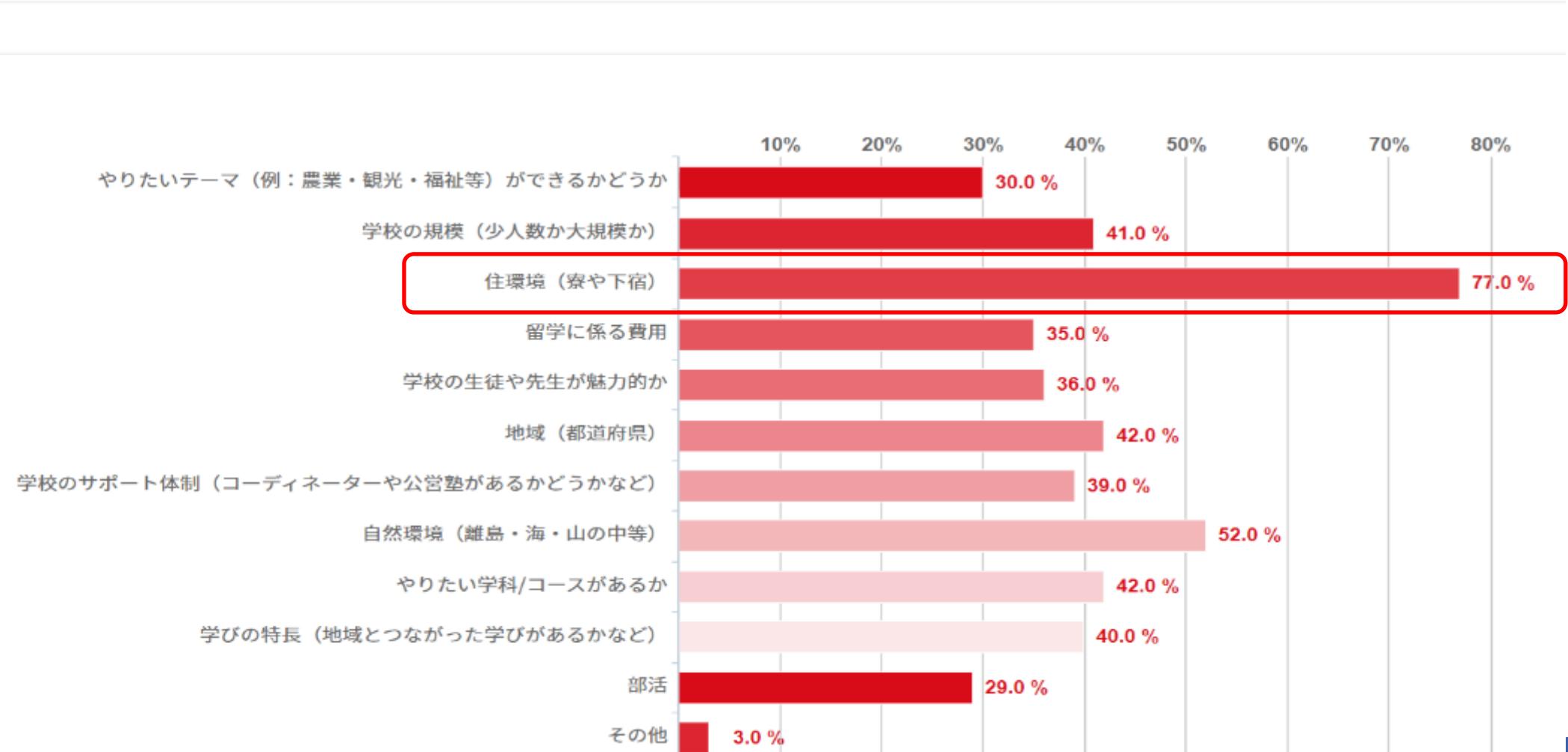


住まいの重要性(地域みらい留学検討者のアンケート)

「住環境」は留学先を検討するうえで欠かせない要素である

学校を「最初にいくつかにしほる」際にどのような観点でしほりましたか。当てはまるものをすべてお選びください。

(回答数: 100)



地域みらい留学検討者を対象にしたアンケート（2024年度実施）

住まいを選ぶ際に1番目に外せないポイントを教えてください

生徒自身で自炊をす...

0.9%

寮則が厳しくないか...

3.5%

学習面のサポートが...

4.4%

その他

5.8%

夜に子どもだけにな...

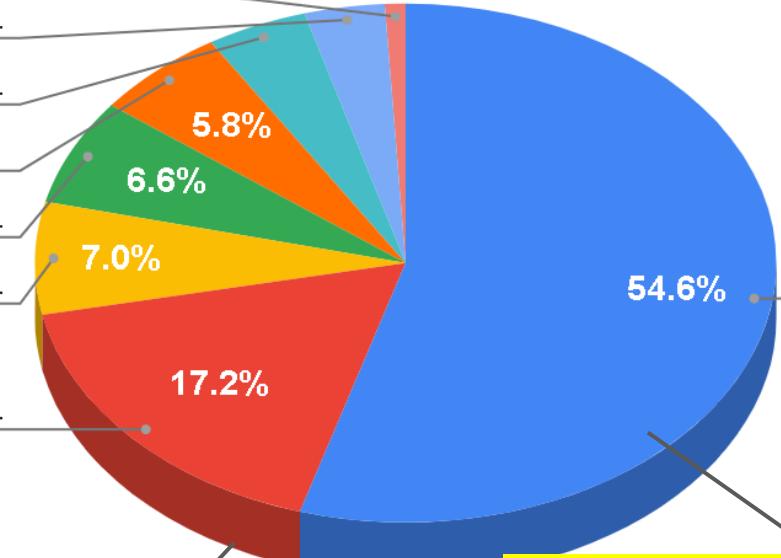
6.6%

その寮独自の学び合...

7.0%

生徒の自炊ではなく...

17.2%



生徒の自炊ではなく、調理された食事や弁当が提供されること

寮監やハウスマスターなど、生徒の寮生活を見守る大人がいること

項目	割合
寮監やハウスマスターなど、生徒の寮生活を見守る大人がいること	54.60%
生徒の自炊ではなく、調理された食事や弁当が提供されること	17.20%
その寮独自の学び合いや特徴があるかどうか/その地域ならではの体験ができる	7.00%
夜に子どもだけにならないように、宿泊する大人がいること	6.60%
その他	5.80%
学習面のサポートがあること	4.40%
寮則が厳しくないかどうか (就寝時間・休みの日の自由度など)	3.50%
生徒自身で自炊をすること	0.90%
合計	100.00%

住まい整備伴走支援（全体像）

住まい整備伴走支援の範囲

寮整備の検討

受入2年前～1年前

住まい整備の事例提供

住まい整備研修

個別相談対応

寮運営に向けた具体的な計画策定

受入1年前～直前

寮運営費用の概算を
つくるところまで
支援してほしい…

基本計画
の設計
(3ヶ月)

寮立ち上げの伴走
(9ヶ月)

4月に寮運営開始でき
るように体制構築まで
支援してほしい…

まず他校の事例
が知りたい…

寮整備の流れが
わからない…

研修まで待てないので
今すぐ相談にのってほしい。
何に困っているか分からぬ
で課題の整理からしてほしい…

寮運営開始

受入開始

寮運営開始

住まい整備伴走支援（無料）

「地域みらい留学」の全国募集を支えるため、活用可能な物件を安心・安全な住まいとして整備し、地域や学校と連携しながら寮の立ち上げ・運営を支援します。

	支援内容	詳細	金額
1	住まい整備の事例提供	<ul style="list-style-type: none"> 各地の住まい運営の事例提供 よくある質問をまとめたQAリストによる住まい整備にまつわる疑問の解消 	無料
2	住まい整備研修	<ul style="list-style-type: none"> 1.5時間×5回の研修 基本計画～実施計画～運営体制の3つのステップに沿って、必要な準備事項を具体的に解説 	

住まい整備伴走支援（有料）

「地域みらい留学」の全国募集を支えるため、活用可能な物件を安心・安全な住まいとして整備し、地域や学校と連携しながら寮の立ち上げ・運営を支援します。

	支援内容	詳細	金額（税込）
1	個別相談対応	<ul style="list-style-type: none"> 個別の課題に対し、事例を交えて助言・提案を行う 最大2時間程度 	2.2万円／回
2	基本計画 (=寮運営の骨子) の設計	<ul style="list-style-type: none"> 寮コンセプト、寮機能の洗い出し、寮運営費用の概算作成まで 関係者間の協議のファシリテーション 3ヶ月間の伴走（オンライン） 	66万円
3	寮立ち上げの伴走	<ul style="list-style-type: none"> 寮の立ち上げに向け、設計や改修計画の検討、チームビルディング、運用設計、受入準備などを支援 初回現地訪問+9ヶ月間の伴走（オンライン） 	220万 + 旅費交通費

※支援にかかる費用は、内容に応じて応相談。

►PR支援

● 地域、高校の魅力の言語化をお手伝いし、プレゼン資料作成をサポート。

参画校様の抱える問題①

魅力を言語化するのが難しい

私たちの地域・高校の
魅力って何だろう…？



魅力発見

自分の住む地域や高校のこととは当たり前のことになりすぎて、他と比較したときの強みが内側からは見えなくなりやすいです。外からの視点で差別化ポイントと一緒に言語化します。

参画校様の抱える問題②

魅力の伝え方がわからない

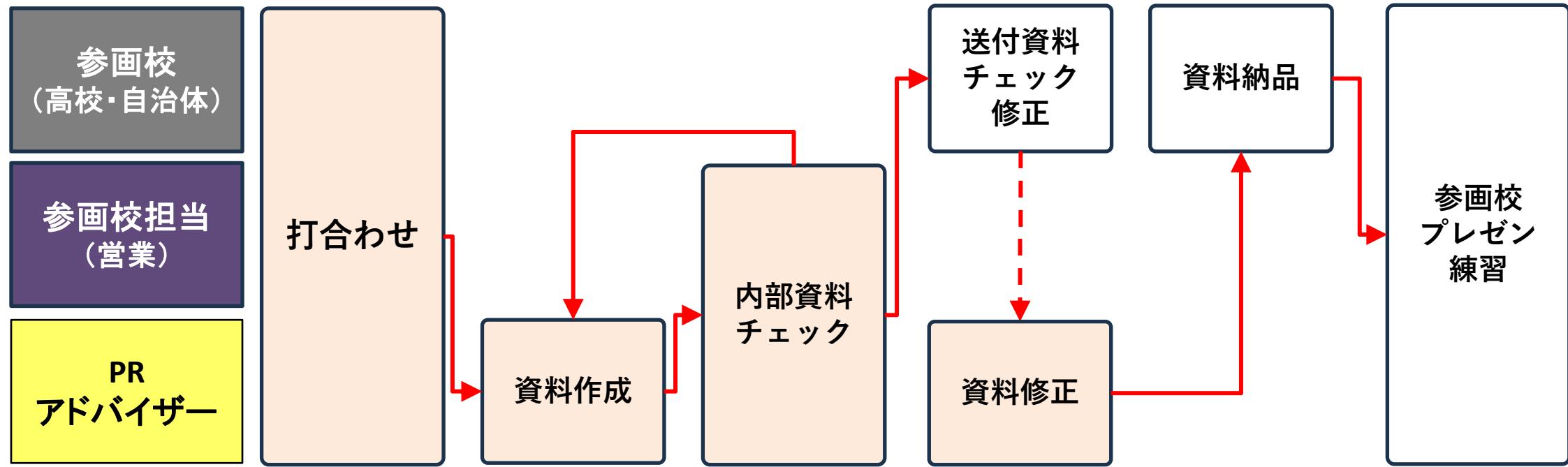
どのように伝えれば興味
を持ってくれるのかな？



魅力の伝え方

全国生徒募集に関わる資料作成や、中学生向けにプレゼンする機会があまりないなどのお声をよく聞きます。魅力を伝えるための資料作成を支援させていただきます。

- 事前調査、およびオンラインの打ち合わせ後にPower pointの資料を作成。



- PR資料作成支援の提供価格、内容は以下の通り。
- 支援できる数に限りがあるため、申込先着順等の対応を検討予定。

名称	地域みらい留学PR支援
価格	11万円(税込)
支援内容	<ul style="list-style-type: none">・地域や学校情報の下調べ・オンラインの打ち合わせ・Power pointの資料作成(10ページ程度)・プレゼンのノウハウ提供・プレゼンの模擬練習

自治体が実施する二地域居住・関係人口施策への支援（特別交付税措置）

総務省では、都道府県・市町村が実施する以下の経費に対し、特別交付税措置を講じることとしている。

- 地方自治体が実施する二地域居住・関係人口施策に要する経費（措置率 0.5 × 財政力補正）
- 「二地域居住コーディネーター」の設置に要する経費（1人当たり 500 万円上限（兼任の場合 40 万円上限））

情報発信

- ★二地域居住希望者等に対する情報発信に係る財政措置
 - ・相談会、セミナー等の開催に要する経費
 - ・関連イベント等への相談ブースの出展に要する経費
 - ・各地方自治体のホームページや東京事務所等における情報発信に要する経費
 - ・コワーキングスペースの紹介などテレワーク環境の発信に要する経費
 - ・二地域居住等の促進のためのパンフレット・プロモーション動画等の制作に要する経費
 - ・二地域居住者等の登録のためのシステムの構築・維持に要する経費
(※ 1) 等

きっかけづくり

- ★二地域居住を検討する上での不安・懸念を軽減、払拭すること目的とした体験の実施等に係る財政措置
 - ・「二地域居住体験ツアー」等の実施に要する経費
地域留学のプログラムづくりに要する経費
 - ・「デュアルスクール」や保育園留学のプログラムづくりに要する経費
 - ・移住体験住宅・サテライトオフィス・コワーキングスペース・ワーケーション施設の整備に要する経費（※ 2）
 - ・地域住民との交流機会やプログラムの実施に要する経費
 - ・地域のファンクラブの設置に要する経費
 - ・二地域居住意識動向の調査に要する経費 等

(※ 1) 二地域居住者等の登録のためのシステムの構築に要する経費であって、デジタル活用推進事業債（仮称）の対象となるものについては、本特別交付税措置の対象となる。

(※ 2) 民間事業者が実施主体となる整備は新築する場合を除く。地方自治体が実施主体となる整備は地域活性化事業債の活用が可能である。なお、地域活性化事業債の対象経費については、本特別交付税措置の対象とはならない。

(※ 3) 二地域居住者の交通費への支援等の現金給付は対象外。

(※ 4) 地域外からの学生の受け入れを主たる目的としたものに限り、学校魅力化を主たる目的としたものを除く。また、当該地方自治体の地方創生総合戦略等の計画に位置付けられたものに限る。

相談窓口の設置

- ★二地域居住希望者等が地域での具体的な生活等の相談ができる窓口の設置に係る財政措置
 - ・地域内の相談窓口の設置に要する経費
 - ・都市部等の地域外での相談窓口の設置に要する経費

受入環境の整備

- ★二地域居住希望者等の就職や兼業・副業の支援又は住居支援に係る財政措置
 - ・二地域居住希望者等に対する就職や兼業・副業の支援、住居支援（空き家バンクの運営、住宅改修への助成）（※ 3） 等

(※ 5) 二地域居住・関係人口施策については、移住・定住対策と一体的に実施することもある。二地域居住・関係人口施策を主たる目的とする事業の場合は、二地域居住・関係人口施策に係る特別交付税措置、移住・定住対策を主たる目的とする事業の場合は、移住・定住施策に係る特別交付税措置として算定する。
1

コーディネーターによる支援

- ★二地域居住希望者等に対する情報提供や相談対応等を行うコーディネーターの設置に係る財政措置
 - ・二地域居住・関係人口に関する施策の企画・立案・実行の支援
 - ・二地域居住希望者等への情報提供や相談対応、円滑な地域生活への支援
 - ・「デュアルスクール」・保育園留学における児童生徒の円滑な就学・保育の支援
・地域留学の支援（※ 4） 等

※令和8年度の措置実施については未定

05 第2世代交付金事業概要

多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業

第2世代交付金広域申請に関するご案内

一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム
市町村ネットワーク推進事務局



【参考】新しい地方経済・生活環境創生交付金

- 「ソフト事業」に44自治体の広域連携として申請し令和7年度4月採択（第2回募集にて3自治体を加え、47自治体として申請中）
- 広域申請とは、複数の地方公共団体が連携して行う事業に対して交付金を受けるために行う申請。メリットとしては、申請手続きの簡素化や、広域的な視点での事業実施による効果の最大化等

新しい地方経済・生活環境創生交付金

第2世代
交付金

地方政府がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押し。

最先端技術教育の拠点整備・実施（ソフト・ハードの一体的支援）
農産物直売所・多世代交流施設の一括的な整備（分野横断的な支援）
地域の多様な主体が参画する仕組みの構築
国との伴走支援の強化

デジタル実装型
デジタル技術を活用した地域の課題解決や魅力向上に資する取組を支援

地図かきの窓口
地域アプリ
オンライン診療

地域防災
緊急整備型
避難所の生活環境を抜本的に改善するため、地方公共団体の先進的な防災の取組を支援

地域産業構造転換
インフラ整備推進型
半導体等の戦略分野における国家プロジェクトの産業拠点整備等に必要となる関連インフラの整備を機動的かつ追加的に支援

第2世代交付金の概要

▶ 地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押しする。

◆制度概要

① 地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援

※地方版総合戦略に基づき、目指す将来像及び課題の設定等、KPI設定の適切性に加え、自立性、地域の多様な主体の参画等の要素を有する事業を支援。

② ソフト+ハードや分野間連携の事業を一括的に支援するとともに、国による伴走支援を強化

- 申請の効率化を図る観点から、ハード・ソフトが一体となった事業も含め、一本の申請で受付。

③ 事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体が参画する仕組みの構築

- 産官学金労宮の参画による事業の進捗状況・効果測定を実施し、効果検証及び評価結果・改善方策の公表を義務化する。

◆評価基準

目指す将来像及び課題の設定

KPI設定の適切性

自立性

地域の多様な主体の参画

	事業計画期間	交付上限額・補助率
ソフト事業	原則3か年度以内 (最長5か年度)	1自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中核中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
拠点整備事業	原則3か年度以内 (最長5か年度)	1自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中核中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
インフラ整備事業	原則5か年度以内 (最長7か年度)	1自治体当たり事業計画期間中の総国費 都道府県：50億円 (半年度目安10億円) 中核中核：20億円 (半年度目安4億円) 市区町村：10億円 (半年度目安2億円) 補助率：1/2等 (各市町の交付率によって)

(注1) 拠点整備事業及びインフラ整備事業における単年度の交付上限額は目安とする。

(注2) 拠点整備事業の1事業当たりの事業計画期間における交付上限額（国費）について、都道府県・中核中核都市は15億円、市区町村は10億円を目安とする。

(注3) 新規事業の通常の申請上限件数は、自治体の規模を問わず、10件とする。一定の条件を満たす事業については、通常の申請上限件数の枠外として、2件の申請を可能とする。

(注4) インフラ整備事業は、ソフト事業又は拠点整備事業との組み合わせを要件とする。

本事業【多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業】について



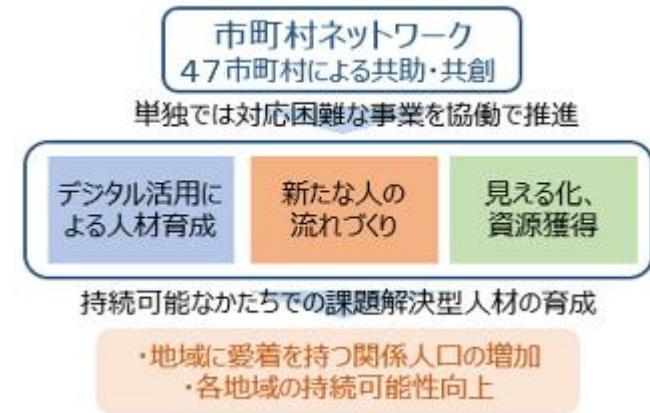
全国の小規模市町村にある高校が連携し、
地域の枠を超えた「多様な越境機会」を推進する広域連携事業を展開。

この取り組みは、地域みらい留学生だけでなく、
地元の高校生にとっても、
全国の高校生や都市部の企業との出会いを通じて、
地域や社会、自分の未来を考えるきっかけを提供をするものです。

多様な価値観に触れる機会を小規模自治体ネットワークにより共創し、
広い視野で地域と関わる力を育んでいきます。

幹事自治体 山形県小国町
事務局（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム

新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)
事業名「多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業



事業概要【多様な越境機会の創出による地域課題解決型人財育成事業】

申請者	山形県小国町ほか46自治体※						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	3,895,362千円 (1,319,812千円)
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 全国の小規模市町村が広域に連携することで、地域・学校の壁を越えた学びの機会と人の流れを創出し、地域課題解決型の人財を育成する さまざまな地域との交流を通じて、生徒達が「複眼的かつ客観的な視点で、地域課題を分析・解決できる力」を養うと中で、地域に愛着をもった関係人口となり、将来にわたって各地域の持続可能性向上に貢献する 							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】全国の市町村とともに「小規模市町村ネットワーク」を形成し、以下の3つのテーマに沿った取組を行っていく。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル活用による、地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン課外活動等の実施（委託費等） 26,664千円 ・人材育成サポートスタッフの配置・育成（人件費等） 89,449千円 ②新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・海外も含む多様な生徒募集の実施（実施経費等） 93,511千円 ・多様な留学生の受け入れ体制整備（委託費等） 508,469千円 ・多様な留学生の受け入れ施設の整備・改修（改修費等） 301,744千円 ※交付対象事業における施設整備・事業設備・備品経費の対象 <ul style="list-style-type: none"> ③自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源獲得 <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源獲得プロジェクトに係る費用（委託費等） 41,281千円 						<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-right: 10px;">市町村ネットワーク 47市町村による共助・共創</div> <div>単独では対応困難な事業を協働で推進</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: 15%;">デジタル活用による人材育成</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: 15%;">新たな人の流れづくり</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; width: 15%;">見える化、資源獲得</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 持続可能なかたちでの課題解決型人材の育成 ・地域に愛着を持つ関係人口の増加 ・各地域の持続可能性向上 </div>	
地域の多様な主体の参画	<p>参画市町村（官）、各地域の高校（学）に加えて、地域教育、人材、旅行、国際などの分野に専門性を持つ民間・公益団体（産・金）が参画し、小規模市町村ネットワークと連携する。これにより、越境プログラム、海外との連携、持続可能な運営に向けた支援など、多角的な取組を推進する。さらに各地域においても、商工会等の経済団体、地域金融機関、大学・研究機関など、多様な関係者が連携し、地域資源を活かした交流機会や大学・研究機関の専門的な知見等を反映し、取組の改善にも取り組む。</p>						<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①外部から地域に越境し居住する中高生の数（+258人） ②越境プログラムに参加した中高生の数（+179人） ③オンラインプログラムに参加した中高生の数（+494人） ④課題解決型人材の育成に係る指標（+12.0ポイント）

「多様な越境機会」～本事業の紐づく取組例とKPI

① デジタル活用による地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成

デジタル活用による地域・学校の壁を越えた交流・学びの提供を通じた、課題解決型人材の育成

【対象となる取組例】

- 都市部や海外、他地域の中高生とのオンライン交流・オンラインフェスの実施
- 主体性や協働性等の向上を目的としたオンライン課外活動・課外学習の実施
- 地域・学校の壁を越えて学びあうことができる通信制授業の実施 等

【KPI】

- オンラインプログラムに参加した中高生の数 (+494人)



② 新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出

自由度の高い越境機会の創出を通じた、より広範で多層的な関係人口の拡大

【対象となる取組例】

- 中高生を対象とした短期越境プログラムの実施
- 在外教育施設の生徒や外国人生徒等も対象とした越境機会の創出
- より多様な生徒も地域・学校に受け入れるための体制の整備・生活支援 等

【KPI】

- 外部から地域に越境し居住する中高生の数 (+258人)
- 越境プログラムに参加した中高生の数 (+179人)



③ 自走化に向けた成果の見える化及び社会資源獲得

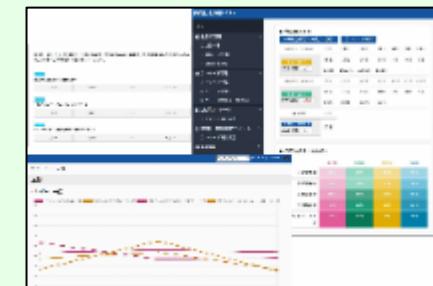
データ利活用を通じた、事業の成果・価値の見える化と民間・社会資源の獲得・活用

【対象となる取組例】

- 事業成果の見える化、及び総合的なデータの分析・利活用
- 社会資源の獲得に努めるスタッフ（リソースマネージャー）の配置・育成
- 社会資源（人材・モノ・資金）の獲得に向けたPJの実施、広報・PR 等

【KPI】

- 高校魅力化評価システムによる生徒のWellbeingや社会性の伸び 等



各自治体の申請経費項目について

1

デジタル活用による地域・学校の壁を越えた課題解決型人材の育成

オンライン課外活動や、生徒の交流イベントのプログラム運営費等

- 1) オンラインを活用した課外活動・課外学習に関する講師謝金、業務委託費
- 2) デジタル活用を通じた活動に関するスタッフの配置に関する人件費
- 3) 参画市町村の共創によるプログラムの企画・運営等の推進事務局運営費

2

新たな人の流れづくりを通じた多層的な関係人口の創出

中高生を対象とした短期越境機会の創出等

- 1) 参加者募集のためのWEBページ、PR動画の作成等の広報宣伝費
- 2) 中高生向けの短期越境プログラムの実施に関する業務委託料
- 3) 多様な留学生の受け入れに係るスタッフの業務委託費、人件費、旅費等
- 4) 多様な生徒を受け入れるための体制整備・生活支援
- 5) 高校生向け越境プログラムの企画・運営等の推進事務局運営費

3

自走化に向けた成果の見える化、及び社会資源の獲得

- 1) 社会資源の獲得に係るプロジェクト等を推進するスタッフの育成・配置の人件費・研修費等
- 2) 「高校魅力化評価システム」を活用した事業成果の可視化及びデータ分析等の推進事務局運営費

市町村別経費について

- 1自治体当たり平均21,800千円

多様な生徒を受け入れるための体制整備・生活支援 (海外も含む多様な留学生の受け入れ)

- 地域に受け入れた多様な生徒の住まいを維持するための業務の委託費用
(越境留学をする中高生への助言、食事の調理、提供)
- サポートスタッフの人物費及び活動費（車両リース料やその他の燃料費、研修費等）
- 多様な生徒を受け入れるための寮の食事調理に係る謝礼（寮長、調理員、宿直員等）
- 多様な生徒を受け入れるための施設の整備・改修等に係る費用
(老朽化による屋根の修繕費用、共有スペースの整備または改修等)

※注意点として、個人給付にあたるものは対象外です。



(写真はイメージ)

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業

ネットワーク推進事務局運営費について

ネットワーク推進事務局の業務内容

- 本事業に参画する場合、ネットワーク推進事務局運営費として、159.5万円（税抜145万円）をご負担頂く（実質79.75万円）
※地域みらい留学の参画費とは別途
- 幹事自治体と連携し申請書類の取りまとめの他、テーマ①②に紐づく事業等を推進

主な事務局業務内容	
申請書類等の とりまとめ	<ul style="list-style-type: none">40～50自治体の毎年度の申請及び変更申請に関する書類の内容確認・とりまとめ 幹事自治体と連携して実施
研究・開発、実証	<ul style="list-style-type: none">「テーマ① デジタル活用」及び「テーマ② 多様な越境機会創出」に関する研究・開発、 及び各テーマに沿ったプログラムの企画・運営
評価システムの活用、 結果分析	<ul style="list-style-type: none">「テーマ③ 自走化」に向けて必要となるデータの収集・整理、及び総合的な分析 ※ 「高校魅力化評価システム」利用料は含みます。審査基準でもあるPDCA推進に向けた事業評価及び改善点の公表
広報・PR、 外部連携の促進	<ul style="list-style-type: none">各地域における取組の効果の向上や、自走化に向けた資源獲得等を支援するための対外 発信等https://ekkyonet-mirai.jp/ (WEBサイトはこちら)
参画校コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none">参画自治体及び学校間のコミュニケーションを促進するため、情報交換会等のイベント を定期的に企画・開催

令和7年度 ネットワーク推進事務局／デジタル活用及び多様な越境機会創出

オンライン 越境 プログラム

※ネットワーク連携校の高校生
が対象

多様な 越境機会

データ分析PDCA の推進 对外発信

キャリア×探究プログラム

地域みらいキャリア

7月～12月

- ・高校生がキャリアや進路について考え、先輩社会人や大学生に相談できるオンラインプログラム。
- ・各学年別のコースを開催
- ・高1はパーソル社と共同開発
- ・12月に成果発表会を実施



海外からの短期の受入れを推進

先行地域にてモデル実証

海外在住の中学生を対象に、北海道および宮崎県にて短期体験プログラム『おためし地域留学』を今夏開催



「高校魅力化システム」分析調査

- ・ネットワーク連携校の学習環境と、生徒の資質・能力の成長・ウェルビーイングを可視化
- ・教育の質の向上に向けたPDCAを推進



7月調査・10月分析

多様な企業と連携した探究プログラム

ZOZOプロジェクト

9月～12月

- ・ファッショントピックをテーマに、地域活性化に取り組む探究プロジェクト
- ・ECサイトを運営するZOZOと連携実施
- ・優秀チームはZOZO本社ご招待
- ・定員30名程度



海外×地域みらい留学 連携協定

公益財団法人 海外子女教育振興財団様とも、国際社会で活躍する人材育成に向けた連携協定を締結



公益財団法人
海外子女教育振興財団
Japan Overseas Educational Services

対外発信・連携等の促進

- ・対外的な広報及び社会への発信
- ・取組の普及及び連携企業の開拓



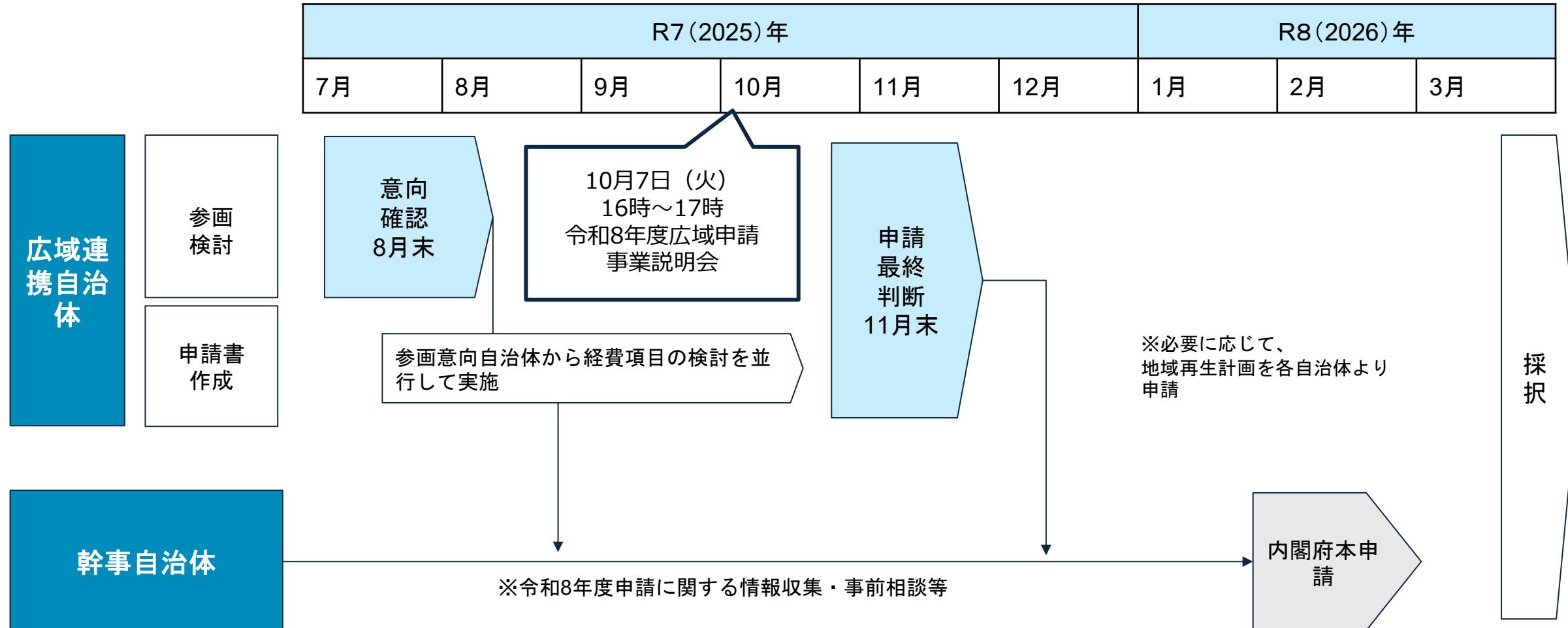
新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

多様な越境機会の創出による地域課題解決型人材育成事業

広域連携における申請スケジュール

令和8年度本事業（広域連携事業）への参画に関するスケジュール

- 令和8年度からの新規参画をご検討される場合は、8月末までにご意向をお知らせください。
- 参画は可能と見込んでおりますが、国の予算審議の状況により、確定次第ご案内いたします（10月上旬を目途に、追加申請の可否や上限額の有無をご案内予定）



交付金申請に関する意向確認について

- 令和8年度の意向確認についてフォームに入力ください。
※申請意向がない場合も、お手数ですがフォームに入力ください。
- 令和7年10月7日（火）広域申請に係る事業説明会



8月末までに回答ください。

令和7年度採択及び第2回募集申請の自治体・学校のみなさまへ

令和7年7月2日（水）16時～17時に情報交換会を実施

主なテーマ

- ・「オンライン越境プログラム」のご案内
- ・ZOZO PROJECTのご案内
- ・海外からの日本人受入れに関するガイドラインの共有
- ・KPI進捗及び事務手続きについて

対象

- ・自治体及び学校関係者、コーディネーター等

06 地域みらい留学奨学金



地域みらい留学奨学金について

越えて、行こう。

地域みらい留学

2026 年度新入生対象

「地域みらい留学」 奨学生募集

高校 3 年間で 100 万円を給付

"やりたいこと" と "自分らしさ" を見つけたいを応援！

応募締切

2025年
8/31（日）

2025年7月1日

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

地域みらい留学奨学金 設立趣旨

全国の中学生が、家庭の経済状況にかかわらず、
自らの意志で地域で学ぶ道を選び、将来の可能性を拓いていけるように――

偏差値以外のものさしで「自分らしさ」「やりたいこと」を求めて地域の学校で学ぶという選択肢を後押しし、この新しい進学のかたちをもっと多くの子どもたちの当たり前として届けるため、

取組みに共感いただいた方からの寄付を原資とし、
3年間で100万円、返済不要の奨学金を給付します

地域みらい留学奨学生 募集要項

高校生活を通じて、"やりたいこと"と"自分らしさ"を見つけるため、これまでとは違う環境へ「越境する」と自分自身で決意した人材を求めます。

応募資格

- (1) 2026年3月に中学を卒業する予定であり、2026年4月より地域みらい留学をする意志があること。
(地域みらい留学参画校に、都道府県の枠を超えて進学をする方が対象)
- (2) プログラム参加・協力の意志があること。
 - ・期限内にレポートの提出（半年に1回予定）
 - ・報告会・交流会の参加（年に1回予定）
 - ・インタビュー等、地域みらい留学の広報への協力
- (3) 経済的に本奨学金がなければ留学が困難な者
前年度の（世帯）所得が一定水準以下であること（目安として910万円以下）
*高等学校等就学支援金制度の所得要件に準じます。

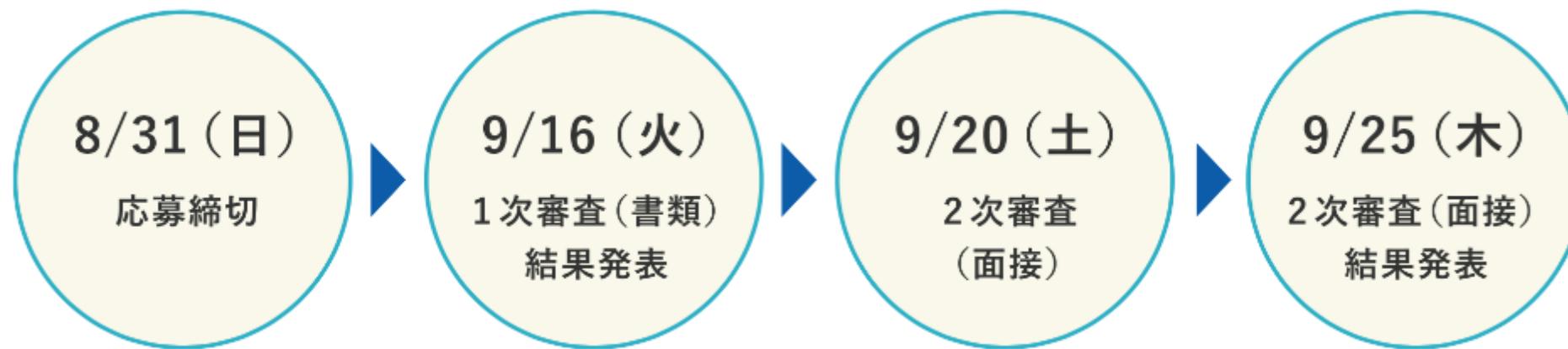
募集人数

30名

今後のスケジュール

応募受付期間	6月22日（日）～8月31日（日）
一次審査結果通知	9月16日（火）
二次審査（面接）	9月20日（土）
二次審査結果通知	9月25日（木）

*審査の経過及び判定の理由は公表致しません。



地域みらい留学奨学金に関する対応

- 採用決定した奨学生情報を、事務局から学校に連絡することはありません
- 入学後の奨学生の義務として下記を課します
詳細は奨学生へ個別に連絡しますが、学校宛に発行依頼がありましたらご対応をお願いいたします
 - 在学証明書（9月）、通知書写し（3月）の提出
 - レポートの提出（半年に1回）
 - 報告会・交流会への参加（年に1回）
- 学校ホームページ等で告知いただける場合はぜひよろしくお願いいたします

よくあるご質問

>>>制度の概要・お金まわりに関する質問<<<

Q1. 本当に返済は不要ですか？

不要です。

ただし、懲戒処分による退学、除籍、無期停学又は3か月以上の停学の場合、支給済みの給付奨学金の返還を求めます。

Q2. 他の奨学金と併用できますか？奨学金の使い道に制限はありますか？

併用できます。また使い道に制限はありません。

Q3. 奨学金はいつ、どのように支給されますか？

奨学金は原則として、給付要件を確認後、10月及び4月に各6か月分をまとめて直接本人に給付します（1か月あたり2.5万円）。

（本人名義の銀行等の預金口座に入金します）

初年度は入学時4月に10万円を給付し、10月に15万円、翌年4月に15万円の給付します。

よくあるご質問

>>>応募・選考に関する質問<<<

Q4. 選考では、成績が重視されますか？

成績は問いません。

高校生活を通じて、"やりたいこと"と"自分らしさ"を見つけるため、これまでとは違う環境へ「越境する」という本人の決意を重視します。

Q5. 保護者の収入や家計状況はどの程度見られますか？

応募資格を経済的に本奨学金がなければ留学が困難な者としています。求める人材像との合致と経済状況を合わせて審査します。

Q6. 奨学生として何か義務や活動がありますか？

- (1) 本財団からレポート等の提出を求められた場合は遅滞なく提出しなければなりません。
(レポートは9月・3月を予定、9月は在学証明書、3月は通知表も一緒に提出)。
- (2) 報告会・交流会の参加（年に1回予定）、インタビュー等、地域みらい留学の広報へのご協力いただきます。
- (3) 奨学生本人が被写体として含まれる、本財団が開催する行事の写真が、本財団のホームページやパンフレットやポスターおよび新聞記事などに掲載されることに同意いただきます。

よくあるご質問

Q7. 途中で転校した場合や、退学した場合はどうなりますか？

支給を廃止します。

懲戒処分による退学、除籍、無期停学又は3か月以上の停学の場合、支給済みの給付奨学金の返還を求めます。

>>>その他<<<

Q8. まだ進学する学校が決まっていないのですが、応募できますか？

応募できます。

進学しない場合は取り消しとなります。

Q9. 説明会に出席できないと応募できませんか？

応募できません。

オフライン、オンラインとご用意しておりますので、いずれかにご参加をお願いいたします。